

トラック2

(キス責め・耳責め)

そう言えば、

ご主人からちゅー、してくれたことってなかったなあ。

(キス1回)

普通私があんなにちゅーしたらお返しにって倍返すでしょ、このアホご主人。

...やっぱ私のこと、どうでもいいのかなあ。

う...悲しくなってきた。

ぎゅー。

(♪衣擦れ)

心臓の音...。天界の人より、鼓動が早いんだ、人間って。

ご主人が生きててくれればそれだけでいいって、私、そうは思えないんだ。

したいこと、いっぱい出てくるもん、ご主人といると。

ご主人のことも、もっと欲しいよ。

(キス複数回)

もっと色んなところにちゅーしたい。

服邪魔...脱がせちゃお。

(♪衣擦れ)

ふふ。ご主人の肌、やっぱり好き...。

...たくさんマーキングすれば、変な虫寄ってこないよね。うん。

こんな綺麗な体が悪いんだ。そうさそうさ。
私のものだって印、たくさん残してあげるね。

(30秒程度、全身にキス、ところどころ吸う感じで)

ふふ、くっつきついた。起きたらびっくりするだろうな～。でも怒られそ
ー…。

…怒ってもいいから。
今ぐらい独占させてよね。

(キス複数回)

はぁ…羽が重い！ 邪魔ー…。

…ねえご主人。
もしかして、私が人間じゃないから、そういう対象として見れないの？
やっぱり人間じゃないとダメ？

私は、天界の人たちに咎められても、ご主人となら…。

…ってダメよね、こんなこと考えちゃ。
こうしてるだけでも、十分だって思わなきゃなのに。

…やっぱり、私がわがままばかり言うからかな。
いつもわがまま言って、ごめんね。

(キス複数回)

ご主人って、耳弱いのかなぁ。
ちょっかい出すといつも怒るけど、本当はすごく感じやすいの…？

…寝てる間だけなら、いい…よね？

(♪衣擦れ)

なんか、いざ攻めるってなるとドキドキする…。

美味しそうな耳…。 はむ。

（以降、右耳舐め、セリフ挟みながら数分）
ん…今ピクって動いた。 寝てても感じるのかな？
もっとしちゃお…。

甘噛みしたら、もっとビクビクするかな…。 ん…。

ん…？ 起きてない…よね…？
寝てても声出るんだ…ご主人のかわいい声初めて聞いた。
こんな声出すんだ…もっと聞きたいな…。

左耳もしたら、流石に起きちゃうかな？

（↓衣擦れ、左耳に移動）

それじゃあこっちも…。 あむ。

（左耳舐め、台詞挟みながら数分）
こうして耳の穴の中に舌入れてクチュクチュしてると、
ご主人のこと犯してるみたいで、
ちょっとゾクゾクしてくる…。

もっと、奥まで…。

ふふ。 またビクってした。
寝ながら気持ちよくなるご主人、かわいいな…。

（↓衣擦れ、耳舐め終了）

あは、ご主人の耳、私の唾液でベチャベチャになっちゃった。
この濡れたところに息ふきかけたら、気持ちいいかな…？
ふー。（右耳に息ふきかけ）

もぞもぞしてる…気持ちいいんだな？
じゃあこっちも…。
ふー。

(左耳に息ふきかけ)

ふふ、くすぐったそー...。

ん！

...あれ、ご主人...勃ってる...？

え、うそ、...私のキスで、本当に気持ちよくなってたってこと...？

うわ、なにそれ、すごく嬉しいんだけどご主人...。

はー...っ

ご主人のこと責めてたら、私までムラムラしてきた...。

おかしいな、

こんな風になること、天使なら普通ないんだけどな。

ご主人となると、発情した動物みたいになっちゃうのはなんでだろ...。

ご主人、夢の中で私とえっちしてたらいいなあ...。

う...、もう我慢できない...。

(♪衣擦れ)

私、ご主人の上でオナニーします。

変態なことするくにかのこと...許してください。